

市議会6月定例会

上越市議会定例会が6月5日から19日まで開催され、一般会計補正予算案や、条例の一部改正などについて審議が行われました。

補正予算の主な内容は、10月から実施となる幼児教育・保育の無償化に伴い保護者から実費徴収する給食費に関連する歳入歳出予算を追加す

るとともに、水族博物館の指定管理委託協定に基づく指定管理者からの納付金などを水族博物館整備運営基金に積み立てるほか、アルゼンチン共和国チブ州政府とのマゼランペングインの種の保全に関する協議のための経費などを増額するものです。

上越地区における広域最終処分場の候補地選定に着手

新潟県は、上越市内における広域最終処分場の整備を目指して、大学教授や関係団体の代表者など7人の委員で構成する「上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会」を設置し、6月12日、初回の会議をエコパークいずもぎき（出雲崎町）で開催しました。地元からは、上越商工会議所と当市がオブザーバーとして、令和2年度まで計6回開催予定の会議に出席します。

この日は、処分場整備に係る基本方針（案）や今後の進め方などが協議されました。候補地の選定方法については、選定条件を整理しながら

調査対象地を絞り込み、並行して公募を行うことが検討されています。

検討委員会が



エコパーク施設見学

選定した3〜5カ所の候補地をもとに、県が最終的に3カ所程度の候補地を選定することとしています。会議終了後、昨年10月にオープンしたエコパークの第3期処分場の埋立地や水処理施設を視察しました。

これまでの経過や検討委員会の内容などは、新潟県ホームページでご覧いただけます。

スマート農業実演見学会を開催

当市をはじめ、生産者および農業関係機関などで構成する「上越市スマート農業プロジェクト委員会」では、ロボットや人工知能、インターネットなどの先端技術を活用し、農作業の省力化・精密化や、高品質生産を実現する新たな農業である「スマート農業」の普及、推進活動に取



直線キープ田植機

り組んでいます。5月18日には、板倉区高野地区で、自動操舵で直進する「直線キープ田植機」と、携帯端末などにより給水栓の遠隔操作を行う「多機能型自動給水栓」の実演見学会を開催しました。今後も、作業工程に合わせたスマート農業技術の実演見学会を予定しています。



多機能型自動給水栓

オンブズパーソンが活動を報告

5月30日、上越市のオンブズパーソンの渡邊紳一郎さんが、村山市長に平成30年度の活動報告を行いました。

オンブズパーソンの役割は市政に関する苦情等を公平・公正な立場で調査することで、昨年度は丁寧さを欠いた対応の改善や適正な業務処理の履行など7件の苦情申立てを受け付けました。

また、オンブズパーソンが独自に

調査を行う「発意調査」では、当市の公営住宅における孤独死の防止等について調査。市民への周知と実態把握、課題の検討を要望しました。渡邊さんは「オンブズパーソンが市と市民をつなぐ第三者として、制度等を解説することで、理解してもらえることもある。今後も市民の権利や利益を擁護するため、市政の是正・改善を図りたい」と話しました。